



目黒めいすい広場

令和8年3月31日発行 第23号 目黒区明るい選挙推進協議会
(〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15 / TEL: 03-5722-9299)



「目黒めいすい広場」は、明るい選挙推進委員の情報交換や選挙に関する情報提供を目的に、年2回発行しています。今号では、二十歳のつどい、教育機関と連携した主権者教育、東京都明るい選挙推進大会、ポスターコンクール入選作品の活用についてお知らせいたします。明るい選挙推進活動の際にご活用ください。



二十歳のつどい

令和8年1月12日(月・祝)に、めぐろパーシモンホールで行われた「二十歳のつどい」において「ありがとうポスト(投票箱)」を設置して選挙啓発活動を行いました。

「ありがとうポスト(投票箱)」には、新たに二十歳になられたかたに、これまでにお世話になったかたへの感謝のこトばを書き記したメッセージカードを投函していただき、後日事務局から感謝を伝えたいかたへ郵送しました。

式典には994名(招待状送付者の45.3%)が参加しました。

メッセージカードは32枚投函され、昨年の27枚から5枚増加しました。



当日は、明るい選挙推進協議会と中央地区の推進委員の皆さま10名に参加いただき、啓発品を配布しながら選挙への投票参加を呼びかけました。



高等学校での主権者教育

新たに選挙権を得る世代である高校生を対象に、「学生団体^{アイヴォート}ivote」(※若者と政治のキヨリを近づけることを活動の目的とした学生団体)との連携により、出前授業・模擬選挙を実施しています。

模擬選挙実施の1週間程前から校内に候補者のポスターが掲示され、候補者の政策を掲載した選挙公報も事前に配布されるなど、選挙について考えられる期間が設けられています。また、今回から新たに Google フォームにより候補者への質問を事前に募集し、生徒への関心を高めていきました。

私立トキワ松学園高等学校(R8.3.16)

私立トキワ松学園高等学校の2年生141人を対象に、「女性の社会進出(ジェンダー)」に加え、今年度は「令和8年衆院選の論点、各政党が掲げていた公約の比較」をテーマとした模擬選挙を行う内容で出前授業を実施しました。

授業後には、書面によるインタビューを行いました。生徒からは「私たちが思っている以上に選挙に参加することは難しくない。」「選挙に対するイメージが180度変わった。」「自分一人の投票でも、その一票が社会を変える可能性があるのだ、という実感が増した。」「選挙権を得たら、今回の模擬選挙を活かし、投票に行きたい。」などの意見が出ました。



都立目黒高等学校(R8.3.17)

都立目黒高等学校では2年生228人を対象に、「子育て政策」をテーマに模擬選挙を行う内容で出前授業を実施しました。

模擬選挙では、「祐天寺県」の知事を選ぶという設定で、候補者3人がテーマに沿って「外国のようなベビーシッターや家事・育児サービスへの補助」「オンライン教育支援センターによる不登校支援の充実」「年齢別支援金制度の導入」などの政策について演説を行い、生徒はグループワークなどを通じて投票先を決めました。

授業後には、書面によるインタビューを行いました。生徒からは「自分の中で何を政治に求めているのかを再確認することができた。」「実際の機材を使って投票することが出来たのが良かった。」などの意見が出ました。



体験！選挙出前授業・模擬投票

区内小学校の6年生を対象に、選挙や政治について考えるきっかけとなるよう、選挙出前授業・模擬投票を実施しています。

今年度は、区内3校(八雲小学校、東山小学校、鷹番小学校)で実施予定でしたが、1月下旬に実施を予定していた東山小学校と鷹番小学校については、2月8日執行の衆議院議員選挙により、残念ながら中止となりました。

授業では、選挙に関する基礎的な情報や歴史などを、スライドショーやクイズを用いてわかりやすく説明しています。その後、実際の選挙資材を使用した投票体験、計数機を使用した開票作業など、本物の選挙に近い形で模擬選挙を行っています。

八雲小学校(R7.12.4)

令和7年12月4日(木)に実施した八雲小学校では、「実際の卒業アルバムのタイトル」を決める選挙を行いました。

各タイトルに込めた想いを提案した児童が候補者役として演説し、それを受けて、児童それぞれが真剣に投票先を選んでいました。



開票の結果、なんと、2つのタイトルの投票数が同じ結果となり、児童からは驚きの声が聞こえました。

【開票結果(模擬選挙当日)】

①はじまり	29票
②絆	10票
③躍進	29票
有効投票合計	68票

このような場合に公職選挙法では「くじ引き」で当選を決めることとなりますが、学校との協議の上、後日、決選投票を行いました。

決選投票では、「①はじまり」41票、「③躍進」25票となり、卒業アルバムは「はじまり」に決定しました。



【児童の感想】

投票結果が同数の場合、くじ引きで決めることに驚いた

選挙ができる歳になったら、しっかりと人を選べるように、知識を付けたいと思った

投票用紙は折って入れても、開票の際には自然と開いていることに驚いた

東京都明るい選挙推進大会

令和7年11月21日(金)に、府中の森芸術劇場どりーむホールにて、東京都明るい選挙推進大会が開催されました。毎年、東京都明るい選挙推進協議会と東京都選挙管理委員会が主催する行事で、永年功労者の表彰(及び記念品の授与)と講演が行われました。目黒区からは、明るい選挙推進委員6名が参加し、講演を聞きました。なお、令和7年度は目黒区において永年功労の対象者はいませんでした。



ポスターコンクール入選作品の活用

選挙管理委員会では、明るい選挙啓発ポスターコンクールで入選した作品等を盛り込んだ明るい選挙のための啓発品(ウェットティッシュ、ポケットティッシュ、メモ帳等)や啓発ポスターを作成しています。今回の衆議院議員選挙でも活用しました。

町会などのイベントやサークルの集まりなどで啓発活動に使用しております。



明るい選挙推進委員の任期は2年であり、令和6・7年度の推進委員の皆さまは令和8年3月をもって任期が終了となります。令和6・7年度は合計で7回の選挙執行という類を見ない多くの選挙を執行することとなりました。推進委員の皆さまには、急な選挙を含めて、選挙時啓発や投票管理者・立会人としてご協力いただきましたことに、心より御礼申し上げます。

とりわけ、令和8年2月の衆議院議員選挙では、戦後最短となる16日間という極めて限られた準備期間での執行となりました。また、投開票日当日は吹雪を伴う厳しい寒さであったにもかかわらず、選挙の円滑な実施に多大なお力添えを賜りましたことに、改めて深く感謝申し上げます。

令和8年度は任期満了による選挙執行は予定されておりませんが、投票率向上に向け、事務局といたしましても皆さまとともに、より一層の啓発活動に取り組んでまいります。引き続き投票参加への呼びかけ等につきまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目黒区選挙管理委員会事務局